

Final Green Revolution

～砂漠化地域の緑化農地化を最終的に解決する全く新しいアプローチ～

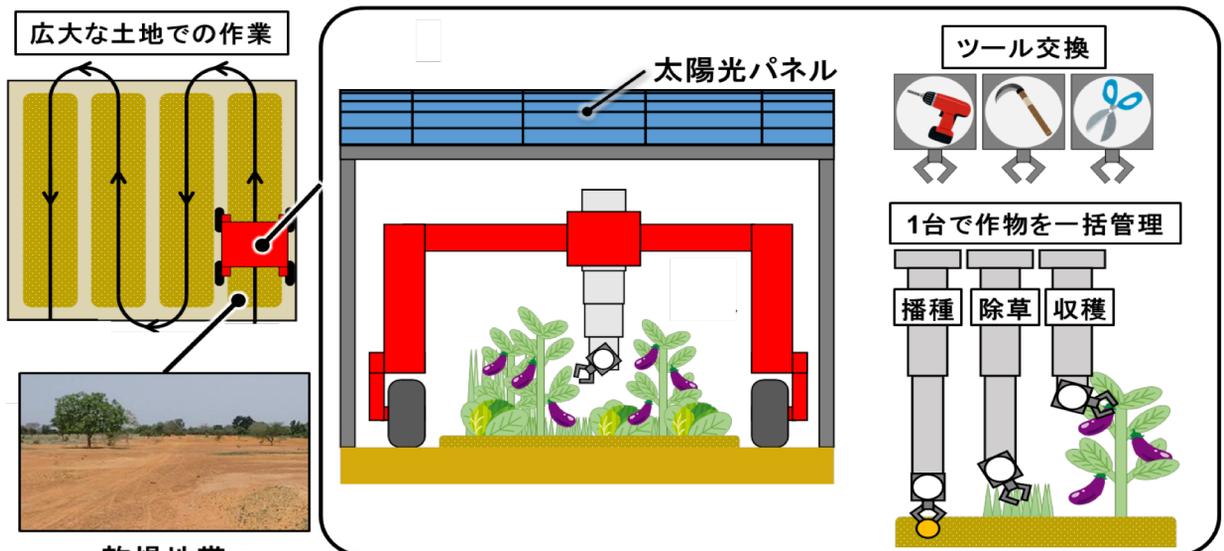
太陽光発電・ロボティクス・協生農法(*)で
アフリカのグリーンウォール構築に貢献する



協生農法をアフリカ・ブルキナファソにて1年実施の結果、
砂漠のような土地の生産性が著しく向上

(*)協生農法・・・不耕起、無施肥、無農薬、種と苗以外一切持ち込まないという
制約条件の中で、植物の特性を活かして生態系を構築・制御し、生態学的最
適化状態の有用植物を生産する露地作物栽培法

少量多品種生産の協生農法による農業を大規模に行うため、
AIによる画像認識を備えた自律農作業支援ロボットを開発



早稲田大学高西研究室作成

[1]<https://www.sonycsi.co.jp/tokyo/407/>

ロボットのPrototypeは2020年10月に太陽光発電所での検証済
砂漠化地域を緑化し、電力と農作物という
人が生きるためのエネルギーを両方生み出す

お問い合わせ：サステナジー株式会社 担当 杉浦(yayoi.sugiura@sustainergy.co.jp)